

2021年7月7日

令和3年度 VOL.15

《スカシユリ  
咲いています》

# 可憐で、たくましい花々 「砂丘の植物観察会」参加者募集中

開催日：2021年7月17日（土）※雨天中止

- 時間／10:30～12:00
- 場所／砂丘エリア
- 申込／事前申込（TEL：029-265-9001）
- 定員／15名
- 受付／海浜口・風のゲート
- 参加費／無料
- 協力／茨城生物の会

国営ひたち海浜公園では、砂丘エリアにて「砂丘の植物観察会」を開催します。本公園の砂丘は、地形や植生がよく残された全国的にも数少ない貴重な場所。郷土の自然を守ることを目的に活動する「茨城生物の会」の先生を講師に迎え、過酷な環境下で力強く咲く“スカシユリ”や“カワラサイコ”、“カワラナデシコ”などの花々を観察します。



スカシユリ(2020年7月10日撮影)

## ◆砂丘の上にある「ひたち海浜公園」

当公園は、全長約10km、海岸から奥行き約3kmにもおよぶ、東日本最大級の砂丘の上にあります。久慈川等から流れ出た砂が、沿岸を流れる海流によって海底に蓄積し、波に押し流されて海岸へと移動。その砂が強い北東風によって内陸側に飛ばされ、防風林などに遮られて堆積し砂丘ができました。

## ◆残された「砂丘の自然」を守る

当公園のある場所は、昭和48年（1973年）まで射撃場として使用され、長期間立入禁止となっていました。そのため、砂丘としての自然環境が残され、多様な海浜性植物が生育しています。しかしながら、周辺地域の開発等により、砂の供給量が減少し、砂丘景観や海浜植生等に影響が出てきているため、専門家・ボランティアとの協働により、動植物の調査や、保全活動に取り組んでいます。

## ◆過酷な環境に適応した海浜性植物

強風や乾燥、海水や強い日差しなど、砂丘の環境に適応した海浜性植物。砂丘の女王とも呼ばれる“スカシユリ”は、強い潮風に耐えるために地面を這うように低く育ち、短い茎の先に不釣り合いともいえる大きな花を咲かせます。また、光沢がある葉は、太陽光を反射して温度が上がるのを防いでいます。



カワラサイコ(2020年7月10日撮影)



カワラナデシコ(2020年7月10日撮影)

### Information

大草原フラワーガーデンで  
キバナコスモスが咲いています

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星  
TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339  
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 <https://hitachikaihin.jp>